

東西条地区住民自治協議会だより

『人と歴史と緑が醸す笑顔と交流のまち東西条』



第19号 平成28年3月25日発行

東西条地区住民自治協議会 事務局 TEL/FAX 082-421-2023

“さあ！心と体にたっぷり栄養をとりましょう！”

東西条地区住民自治協議会 会長 景山 和彦

暖かい春の陽射しが輝き、桜の花が咲き誇る季節となりました。生きているもの全てが生気にあふれています。皆さん、学べるチャンスをとらえて心と体にたっぷり栄養をとりましょう。

先月、東西条地域センターで、「健康教室」と「まるごとサロンパーティ」に参加し、東広島市のマスコット「のん太」君と一緒に体を動かしました。



《「のん太」君、登場》

多くの高齢者の方々、幼児・児童と共にゲームをして楽しみました。赤色の申年（さるどし）えんぎ肌着を身につけると、「健康」と「幸福」を呼ぶということで、福祉部・サロン世話人・児童委員・民生委員の皆さん方の工夫を凝らした「赤パンツ」をはきながらのリレーに私も出場し、子どもと仲良く手を取り合ってトップを競いました。各地域で毎月数回定期的にサロンが開かれ「ふれあいの場・健康づくりの場」として、皆さん会うのを楽しみにしております。

さて、今、住民自治協議会は5つの部会が会議を重ね、4月からの新年度に向けての計画を立てています。

皆さん、これまで以上に意欲的に研修会・イベント等に参加し、一緒に学び、交流して楽しみましょう。また、元気いっぱい笑顔いっぱいの保・幼・小・中学生らの活躍に温かい声援を送りましょう。

皆さん、これまで以上に意欲的に研修会・イベント等に参加し、一緒に学び、交流して楽しみましょう。また、元気いっぱい笑顔いっぱいの保・幼・小・中学生らの活躍に温かい声援を送りましょう。

○ 今年度も終わります(東西条地域センターより)

今年度もあと少しで終わります。「平成28年度を素晴らしい年度にするためにも、1、2、3月が大切です」と前号の住民自治協議会だよりに書きましたが、皆様にとりましてどのような3か月でしたでしょうか？

東西条地域センターでは、新しい講座も始まります。また、今までの講座も、新しい気持ちで今までのことの上に更に新しいものを築いていけます。どうか、多くの皆様が地域センターに来られ、多くの学びを得られますよう期待しています。職員もよりよい地域センターにするため頑張っています。これからも、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2.3 月役員会について

2月18日、3月17日に役員会を開催し、総務、防犯・防災、福祉、健康・生涯学習、地域活性化の各部会から、活動報告並びに今後の予定等の説明がありました。

(次の紙面に各部会の内容や他の議題等を載せていますので、ご覧ください。)



〈3月役員会の様子〉

住民自治協議会「5部会」の事業報告・今後の予定 等

(2月18日、3月17日「役員会」内容抜粋)

○ 東西条小学校長

- ・東西条小学校は来年40周年を迎える。1年を通し40周年の行事を行っていく。玄関に垂れ幕をつけ、航空写真をとり、広報紙の「赤れんが」に市長さんたちのメッセージを載せたい。また、11月25日には英語の研究公開をしていくつもりである。皆様のご支援・ご協力をお願いしたい。

《5部会》

○ 総務

- ・避難行動要支援者避難支援プラン(旧:災害時要援護者支援プラン)の提出について、各区長さんにはお世話になった。
- ・平成28年度の「年間行事予定表」を4月の総会時、区長さんに渡す予定である。

○ 防犯・防災

- ・2月6日、暴力追放・排除・進出阻止に向けた街頭パレードがあり、多くの参加があった。
 - ・自主防災組織結成が現在42区中23地区でできている。結成総会を6月に予定している。
 - ・3月2日、東西条小学校で登校班長の交替式があり、31名参加。学校の様子が分かり良かった。
 - ・6月25日、全国を6ブロックに分け、防犯ボランティアフォーラムがある。
- #### ○ 福祉
- ・2月13日(土)、地域で子育て講演会(講師:竹岡訓子先生)があり、アンケート結果は80~90%が「良かった」の評価であったが、昨年より参加者が減少した。
 - ・2月21日(日)13:30からまるごとサロンパーティーを東西条地域センターで開催し、高評価の内に終了した。
 - ・高齢者が安心して暮らし続けることのできる地域づくりが大切である。市の地域づくりデザインを配付し、説明。
 - ・3月5日、更に4月2日に福祉部会を開催し、次年度の計画を立てる。

○ 健康・生涯学習

- ・2月28日(日)に約80名の参加を得て、ウォーキングを行った。新しい道路もできており、今回はコースを変更し集合と出発を東西条地域センターとし、安芸国分寺へ行き、東西条地域センターへ帰るコースだった。来年度は助実地区の予定である。

○ 地域活性化

・皆様のご協力のお陰で全ての行事が終了した。有難うございました。

《役員会での上記以外の主な連絡、審議事項・審議内容・意見等》

- 市からのお知らせ・・・2月2日、まちづくりトークを開催した。

「大☆地のつながり笑談会」(定期的で開催)に参加してほしい。

- 地域センターから・・・高齢化社会に向けて介護予防に取り組む通いの場を考えている。まず、どこかの部会で計画してほしい。→ 福祉、健康・生涯学習部会はどうか。

- 次回役員会 4月21日(木) 18:00~19:30

東西条地区 ミニ・ニュース

東西条地区の話題、出来事、史跡等、お届けします。
今回は、「卒業式」についてです。

3月12日は松賀中学校で、3月19日は東西条小学校で「卒業式」がありました。

両校とも、卒業生は勿論、在校生や先生方・保護者の方々が真剣な表情で卒業生を見つめておられる姿に出会いました。卒業生一人一人の生きる姿を思い出しておられたのではないのでしょうか。

4月からは平成28年度という新しい年度を迎えます。卒業生は、それぞれ進学し、在校生は、1学年ずつ進級します。その4月がもうすぐやってきます。そこには、新しい出会い、感動と体験もあります。卒業生や在校生、そして、東西条地区に関係のある全ての方々の幸せをお祈りします。



《松賀中学校卒業式》



《東西条小学校卒業式》

「卒業式」は、教育課程を全て修了したことを認定し、そのお祝いをする式典です。特に、日本では、学校教育法施行規則によって定められた学校行事となっています。欧米でも、大学の学位授与の式典はありますが、各学校の修了ごとに祝う式典は日本と韓国のみで見られる習慣です。式の呼称については、式典で「卒業証書」を授与することから「卒業証書授与式」と呼ばれています。(出典：ウィキペディア)

※ 東西条地区の話題、出来事、史跡等について、皆様から原稿の募集をしています。
東西条地域センター（電話&FAX 082-421-2023）まで、ご連絡ください。

第2回「健康生活サロン」開催

高齢者の生活支援を目標として、認知症の予防や住み慣れた地域で生活を続けていけるように考え、市の各団体が発行している冊子を活用して、いざという時に活用できるようにしていきたいと思い、2月5日に開催しました。内容としては、寸劇を見て、課題解決法を学び、認知症予防の健康体操（いきいき百歳体操）を教えてくださいました。

参加者の意見・感想を数点載せさせていただきます。

- ・月1回のサロンにいきいき健康体操を取り入れたい。
- ・寸劇が面白く分かりやすかったです。参考になりました。
- ・肩こりがほぐれました。
- ・いつも運動をし、ウェイトを使ったこともありますが、やはり体に効果があったようです。以後、続けたいと思います。
- ・イスに座っての体操は、気軽に家でできそうなので、プリントを見ながら行うつもりです。
- ・高齢者向きに良い講座でした。

「さわやかウォーク」開催

2月28日、健康・生涯学習部会が主催し、体育振興会、市や教育委員会が共催した「さわやかウォーク」が約80名の参加のもと、行われました。

開会式の後、ウォーキングのスタートです。参加者は、幟を先頭に、新しくできた吉行の道を通って、安芸国分寺へと行きました。安芸国分寺で休憩です。ぜんざいや湯茶のサービスを受けたり、国分寺の敷地の中を歩いたり本堂のそばに腰をかけたりと、それぞれゆっくと休憩時間を過ごしました。そして、最後に、東西条地域センターを目指して歩き始めました。地域センターに着くとお楽しみ抽選会があり、到着した人からくじを引き、賞品をいただきました。みんなの顔は、辛いどころかやり遂げた満足感で輝いて見えました。お世話してくださった役員の皆様、参加してくださった皆様、本当に有難うございました。一人のけが人もなく終わることができたのは、皆様のお陰です。来年は、助実の方にも新しい道路ができていますので、そちらをウォーキングしようと考えておられます。多くの皆様方の参加をお待ちしております。東西条地区の変化の様子を自分の目で見てみましょう。



《さわやかウォークの一コマ》

地域で子育て講演会「子どもへのまなざし」

2月13日、東西条小学校で、福祉部会と小学校の共催による地域で子育て講演会が行われました。今回は、「子どもへのまなざし～お父さん大好き お母さん大好き 私も私が大好き～」を演題として、東広島市スクールソーシャルワーカーの竹岡訓子先生が、プロジェクターを使って写真や表等を示しながら、ご自身の体験を踏まえ分かりやすく講演をしてくださいました。



《講演会の様子》

○親から信じられ、親を信じ、自分を信じ、はじめて人が信じられる

拒否され続けると、自分はダメなんだなーと思ってしまう。

○子どもの心のそだちの土台を育む

自分の気持ちを受け取ってもらっているという実感が大切。

○躰（しつけ）と自立について

躰は、身が美しいという意味で、社会のルールやマナーを伝え、生きる自信を育む。

（しつけは、し続けることが必要）

例えば、地域の方に、「お前、よう挨拶するのー」と言われている子は、ほめられていると喜びをもち、自己肯定感や人の役に立っているという気持ちをもつようになり、自立につながる。

○親子の関係と子どもの問題

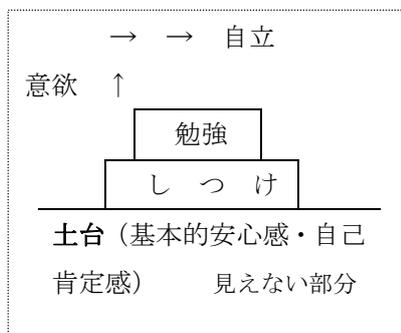
親と子は鏡のようなもの。家庭にルールがいる。生活習慣・リズムをつくる事で脳幹が良くなる。

○思いやりの気持ちを育む

一緒に喜び、悲しむ気持ち（共感）を表すと、優しい子に育つ。思いやりのお手本を示してほしい。

○「ありがとう」の子育て・・・言葉は言霊であり、「ありがとう」を増やしていこう。

《子育てほど大事な仕事はない。子育てファミリーに愛の声かけを！「よく育てられますね」という言葉をかけ合いましょう。》



《分かりやすく話をされる竹岡先生》

（以上の文章は、福祉部会の奥様、折羽様の原稿を参考に作成しました。）